

守るも攻めるも自由に楽しむ「今のスーツの最適解」

“スーツな男”の
ベストスタイル&
マストバイ
[メンズ・イー・エックス]

M's EX

心が伝わる風情と作法
特集「手紙」

加藤綾子×キーパーソン対談
「楽天株式会社 代表取締役会長兼社長
三木谷浩史さん」

300号記念
スーツ大特集号

創刊300号の
今こそ言う。

これがスーツの ベストアンサー

The Best Answer for the suit

王道の男、本物をシコウする
vol.12「ブルネロ クチネリ」

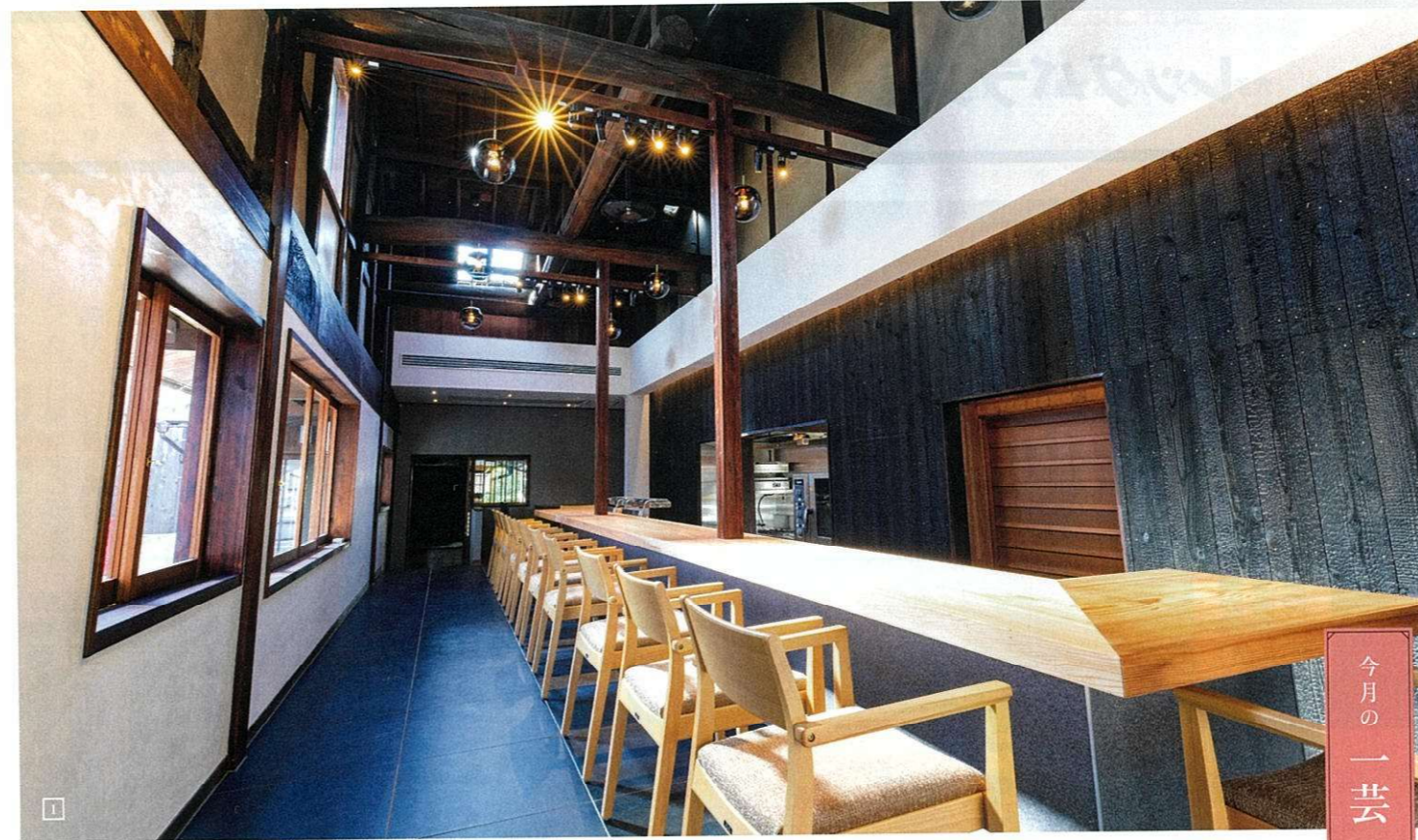
“今”な王道STYLEを考える
新説・コンサバ手帖
～ページュな服の王道の装い一週間～

www.mens-ex.jp

4
Apr.
2019

— 1度は泊まりたい“芸宿” —

一芸に秀でた、知る人ぞ知る名宿をピックアップする当連載。今月の舞台は奈良。
中金堂が301年ぶりに落慶したことで注目を集める名刹・興福寺の近くにいい宿、発見。



酒蔵を再生させた宿で日本酒の魅力にゆるりと浸る



① かつての酒蔵の土間はレストランとして復活。宿泊客だけでなくビジターも利用可能。② ドリンクメニューには豊澤酒造直送の日本酒が並ぶ。おすすめは市場に出回らない希少な銘柄を含むペアリングメニュー(3000円)。③④ ディナーコースの一例。大和野菜や大和牛など奈良の食材をふんだんに盛り込んだ料理が続く。⑤ 客室は全8室。築100年の風合いを活かしつつ、ベッドや水回りには快適さを追求。檜が香る風呂で酒粕風呂も楽しめる。⑥ 宿の軒先には杉玉が。ここが酒蔵であったことを静かに物語っている。

元酒蔵に
泊まる
奈良県奈良市
NIPPONIA HOTEL
奈良ならまち



Data
NIPPONIA HOTEL
奈良ならまち
奈良県奈良市西城戸町4番地
0120-210-289
(NIPPONIA 総合窓口受付11~20時)
1人1泊2食付き3万円~
(税サ別 ※1室2名利用の場合)

泊まらない奈良に
新しいコンセプトホテル

奈良は日帰りで訪れる観光地。そんなイメージを覆しそうな宿が、昨年11月に誕生した。その名は「NIPPONIA HOTEL 奈良ならまち」。江戸時代以降の町家がいまだに建ち並ぶエリア、ならまちにある豊澤酒造の元酒蔵をリノベーションした宿である。

豊澤酒造は明治期に創業し、東大寺や春日大社などに日本酒を納めてきた名蔵。元酒蔵の佇まいはそれを彷彿とさせる立派なものだが、この宿の魅力はそれにとどまらない。例えば水。敷地内には仕込み水に用いられていた井戸が現存し、今も稼働している。つまり、宿で使われる水一切がこの井戸水で賄われているのだ。また、食事も素晴らしい。コースで供されるフレンチ主体の料理はすべて豊澤酒造の日本酒とのマリアージュを前提に練られ、しかも調理過程で酒が巧みに活用されている。

そもそも奈良は日本酒発祥の地と言われているが、この宿を起点に酒蔵巡りを楽しむ、なんていうのも乙なプランではないだろうか。